



2024年1月26日

## 株式会社晃祐堂に対する 「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について

株式会社広島銀行(頭取 清宗 一男)では、株式会社晃祐堂(本社:広島県安芸郡、代表取締役 植松 藤盛)に対して「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 案件概要 (「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の概要は別紙1をご参照ください)

契約締結日	2024年1月26日
融資金額	1億円
融資期間	10年
SPT (サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)	「アップサイクルPBT(ポリブチレンテレフタレート)の利用量」の段階的な引き上げ
その他	サステナビリティ・リンク・ローンとしての適合性およびSPTの合理性について、ひろぎんエリアデザイン株式会社からセカンドオピニオン(別紙2)を取得しております。

#### 2. 企業概要

会社名	株式会社 晃祐堂
所在地	広島県安芸郡熊野町出来庭6丁目6番28号
代表取締役	植松 藤盛
業種	筆の製造販売業
事業内容等	伝統的工芸品である「熊野筆」と、40年以上にわたる書道筆の技術を汲んだ「化粧筆」の製造販売を行っています。 筆の製造工程の見学・手作り体験など、熊野筆の文化・歴史の魅力発信にも努めています。

以上



広島銀行では、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDG 17の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】  
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。  
持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先  
株式会社 広島銀行  
営業企画部 法人企画室  
TEL (082)247-5151 (代表)

## 「〈ひろぎん〉サステナブルローン」について

## ○特長

- ・環境省等が定めるガイドラインに整合したファイナンスフレームワーク「〈ひろぎん〉サステナブルローン」※を策定し、そのもとで「サステナビリティ・リンク・ローン」と「グリーンローン」の 2 商品をご用意し、ニーズに応じてご利用いただけます。

サステナビリティ・リンク・ローン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ESG・SDGs に関する目標を設定いただき、達成した場合に金利引下げを実施</li> <li>・ 設定いただく目標等にかかる外部レビューと年 1 回のレポートイングが必要</li> </ul>
グリーンローン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際原則や政府指針に掲げるグリーンプロジェクトにかかる設備資金のみが対象</li> <li>・ 年 1 回のレポートイングが必要</li> </ul>

※ファイナンスフレームワークのグリーンローン原則等に対する整合性について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

- ・ 対外 PR 支援として、融資実行時に当行よりニュースリリースを行い、サステナビリティへの取組みの対外公表をご支援します。

## ○商品概要

商品名	〈ひろぎん〉サステナブルローン	
	サステナビリティ・リンク・ローン	グリーンローン
取扱店	全店	
対象となる方	以下のすべてを満たす法人のお客さま	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ESG や SDGs に関する目標設定を行うこと</li> <li>・ 外部レビュー※、年 1 回のレポートイング（銀行への進捗状況報告）を実施 ※原則ひろぎんエリアデザインにより実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グリーンプロジェクトへの設備投資を行うこと</li> <li>・ 年 1 回のレポートイングを実施</li> </ul>
お使いみち	運転資金・設備資金	グリーンプロジェクトにかかる設備資金
ご融資金額	30 百万円以上	
ご融資期間	2 年以上（固定金利は 10 年以内）	1 年以上（固定金利は 10 年以内）
ご融資利率	当行所定の金利	
	目標達成の場合、金利引下げ※実施 ※金利引下げのみ、もしくは金利引下げ幅の一部を寄付するタイプのいずれかをご選択いただけます	—
ご融資形式	証書貸付・当座貸越	証書貸付
ご返済方法	当行所定の審査によります	
担保・保証人		
取扱手数料	組成難易度に応じてスキーム構築手数料が必要となります	

## 株式会社晃祐堂 〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン

発行日：2024年1月26日

発行者：ひろぎんエリアデザイン株式会社

本文書は、株式会社広島銀行（以下、「貸付人」という）と株式会社晃祐堂（以下、「借入人」という）の間のサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）について、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に適合していることを確認したものであり、以下にその評価結果を報告する。

### 1. 借入人とサステナビリティ

#### （1）会社概要

借入人は、広島県安芸郡熊野町に本社を置く筆の製造販売を営む事業者である。取り扱っている筆の種類は、化粧筆や書道用筆が中心で「熊野筆」として製造販売されている。熊野筆の歴史は江戸時代末期から始まり、熊野町内で脈々と受け継がれてきた高い技術で作られており、1975年には経済産業省（当時は通商産業省）から「伝統的工芸品」の認定を受けている。借入人には、筆を製造する職人の中でも筆づくり経験が12年以上あり、優れた技術と経験を持つ職人の中から筆づくりの名人として認定される「伝統工芸士」が2名在籍している。

毛筆の生産には約70の工程があり、筆づくりの最も大切な工程は材料の選毛と筆の性質に応じて混ぜ合わせる過程であり、長年鍛え抜いた目と指先の感触を頼りに一本一本丹念に作っている。一方、化粧筆の生産においても約30の工程があり、毛筆同様に最も大切な工程は材料の選毛で、毛筆に比べ工程数は少ないが、ほぼ全ての工程を手作業で丁寧に行っている。

借入人は、筆の製造販売だけでなく、伝統工芸品の歴史やストーリーをより多くの方に知っていただくため、晃祐堂化粧筆工房で「筆づくりの体験」を提供している。好きな色の材料を選んでいただき、バラや丸く可愛らしい形をしたパウダーブラシを作ることができる。

【本社】



【化粧筆】



（出典）晃祐堂HP

## (2) 経営方針とサステナビリティ

借入人は、「筆を通して、世の中に笑顔と喜びと勇気を与える。」という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決及び持続可能な社会の実現に努めている。また、2022年5月にはSDGs宣言を実施している。

経営理念	筆を通して、世の中に笑顔と喜びと勇気を与える。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術・品質・コストを究める。</li> <li>・ 国際的視野で未来を見つめる。</li> <li>・ 人材を鍛え育てる。</li> <li>・ お客様の喜びを目指し感謝の心で行動する。</li> <li>・ 明るい地域社会づくりに貢献する。</li> </ul>

### 【サステナブルな活動】

	<p><b>伝統と革新の製品づくり</b></p> <p>化粧筆のリーディングカンパニーとして、熊野筆の伝統と職人技術を継承し、斬新で充実した機能性のある製品づくりに努めている。お客様にご満足いただける、高品質でリーズナブルな製品を提供し続けており、具体的な取組としては、アップサイクルへの取組及び「伝統工芸士」による筆づくりがある。</p>		
		<p><b>環境への配慮</b></p> <p>気候変動等の環境課題を重要な経営課題として捉え、事業活動を通じた環境負荷の低減に努めている。生物多様性や資源を守るため、持続可能な社会の実現に貢献している。主な取組としては、太陽光パネルの設置などの省エネ設備の導入、バガス材や間伐材の使用による環境負荷の低減、植物由来の人工毛の使用等がある。</p>	
		<p><b>働きやすい職場づくり</b></p> <p>社員が安心安全に働くことができる職場環境の整備に努めている。社員との定期的な面談によりコミュニケーションを活発化させ、世の中に笑顔と喜びと勇気を与えることができる人材の育成に取り組んでいる。主な取組としては、「仕事と家庭の両立支援企業」への登録や「ひろしま企業健康宣言」の取得、「イクボス同盟ひろしま」への加盟、社外講師による社員教育の実施等がある。</p>	
			
		<p><b>明るい地域社会づくりへの貢献</b></p> <p>伝統技術を継承する企業として、本業を通じた地域活性化に貢献している。ステークホルダーの皆さまと連携し、熊野筆という製品やブランドを活かした新たな産業の創造に挑戦している。主な取組としては、広島県大林地区の間伐材を使用した商品開発、教育機関等での熊野筆の講義、工場見学、筆づくり体験の開催等がある。</p>	

## 2. KPIの選定

### (1) KPIの概要

借入人はKPIとして、環境改善をテーマに化粧筆の毛材に海洋ごみのアップサイクルPBTを使用していくこととした。2023年6月期の利用量が100kgであったが、今後10年で3倍の300kgの利用を目指し、環境改善に取り組んでいく。

### (2) KPIの重要性

アップサイクルとは、本来であれば捨てられるはずの廃棄物にデザインやアイデアといった新たな付加価値を持たせることにより新しい製品を創出させることである。アップサイクルPBTは、海辺などに捨てられたペットボトルを材料として、化学的にアップサイクルしたPBT樹脂のことである。アップサイクルPBTを利用することで、環境への負荷低減とともに持続可能な循環型社会の実現に寄与することができる。

### (3) サステナビリティ戦略と KPI の関係

借入人は、経営理念に掲げている「筆を通して、世の中に笑顔と喜びと勇気を与える。」のとおり、創業以来、筆づくりを通して、日本国内に留まらず海外に目を向けて笑顔と喜びと勇気を与える事業活動を行っている。

借入人は、急速に時代が変化する中で、ニーズや価値観が多様化することを感じており、「筆づくりの伝統は守るものではあるが、縛られるものではない」をモットーとして、新しい挑戦を続けている。その中でも環境改善を中心としたサステナビリティ戦略として、SDGsの達成に向けた取組に特に注力している。

借入人は、国内で屈指の化粧筆の製造量を誇る事業者であり、化粧筆の材料はリスやイタチ、タヌキなどの動物の毛を利用しており、これらの毛材を長年利用してきた。しかし、動物の毛は主に中国から輸入されており、近年は動物愛護の観点から流通量が激減していることに加え、中国政府が野生動物の取引を禁止したことから、新たに人工毛で作られる筆の商品開発に注力してきた。

ポリエステル的一种であるPBTは人工毛で、2021年には、動物の毛を使わない「ヴィーガンブラシ」シリーズの販売を開始した。動物愛護への意識が高い海外の利用者からも「肌触りが良い」と好評で、高級な動物の毛を使ったブラシよりも安価で人気が高い。しかし、人工毛で作る筆は、毛につやを出すキューティクルがなく、粉どりや弾力が異なるため、毛の配合などに技術的な難しさがあったが、長年培われた技術で商品化までたどり着いた。

今後、化粧筆の材料は人工毛が主流になり、利用量が大きく増加することが見込まれる。PBTは化学繊維であり、アップサイクルされたPBTを利用することで、環境への負荷を低減させることができ、借入人のSDGsの達成に寄与する。

【アップサイクルPBT製の化粧筆】



(出典) 借入人提供

## (4) KPIの有意義性

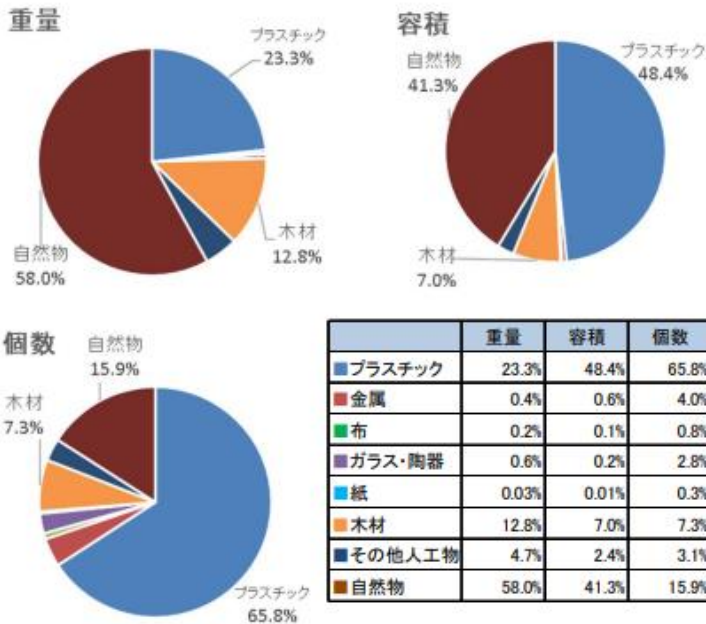
現在、世界的に海洋ごみの問題が深刻化している。海洋ごみは、海岸に漂着する「漂着ごみ」、海の中に流れている「漂流ごみ」、海に流れたごみそのまま海底に沈んでしまっている「海底ごみ」に分類される。海洋ごみの多くはペットボトルを始めとしたプラスチックごみである。海に流れ出たプラスチックごみは海で分解されず、海洋ごみとして増え続けている。世界では既に1億5000万トンの海洋ごみが確認されており、それに加え年間で約800万トンが新たに海に流出していると考えられている。

環境省によると、毎年海に流出するプラスチックごみのうち2~6万トンが日本から発生したものだと言われている。対策を講じなければ、2050年の海は魚よりもごみの量が多くなると言われており、増え続ける海洋ごみにより、海洋汚染や生態系への悪影響が懸念されている。

### 我が国での漂着ごみ調査結果 (種類別割合)

- 平成28年度全国10地点（稚内、根室、函館、遊佐、串本、国東、対馬、五島、種子島、奄美）で漂着ごみのモニタリング調査を実施。※1、2
- 種類別では、重量ベースで自然物が、容積及び個数ベースではプラスチック類が最も高い割合を占めている。

#### <種類別割合(重量、容積、個数)>



#### <漂着ごみ(プラスチック類のみ)の種類別割合>

分類	重量	容積	個数
飲料用ボトル	7.3%	12.7%	38.5%
その他プラボトル類	5.3%	6.5%	9.6%
容器類(調味料容器、トレイ、カップ等)	0.5%	0.5%	7.4%
ポリ袋	0.4%	0.3%	0.6%
カトラリー(ストロー、フォーク、スプーン、ナイフ、マドラー)	0.5%	0.5%	2.7%
漁網、ロープ	41.8%	26.2%	10.4%
ビイ	10.7%	8.9%	11.9%
発泡スチロールビイ	4.1%	14.9%	3.2%
その他漁具	2.7%	2.6%	12.3%
その他プラスチック(ライター、注射器、発泡スチロール片等)	26.7%	26.9%	3.3% ※3
	100%	100%	100%

※1 調査対象の10地点は、平成22~27年度の間に調査した5地点及び平成28年度に新たに選定した5地点の計10地点。(全国の状況を表すものではないことに留意。)

※2 各地点の海岸線50mの中に存在したごみの量や種類等を調査した。

※3 発泡スチロール片等、劣化して微小であったものは、個数の計測はしていない。

(出典) 環境省：海洋ごみの最近の動向

借入人のKPIは主力商品である化粧筆の毛材を動物の毛から海洋ごみのアップサイクルPBTに切り替え、その利用量を拡大させるものである。海洋ごみを増やさない取組も重要であるが、海に流入した海洋ごみを回収してアップサイクルすることも環境負荷軽減につながり、環境改善に貢献するものである。借入人は海外の繊維メーカーが独自開発した66%リサイクル成分が含まれるアップサイクルPBTを採用している。

### 3. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPT）の測定

本ローンのSPT設定については、以下の（1）から（3）の観点より適切な内容で設定されており、サステナビリティ・リンク・ローン原則に適合していると評価する。

#### （1）SPTの概要

借入人はKPIである「アップサイクルPBTの利用量」について、2024年から2033年にかけて、下表のとおりSPTとして設定した。2023年の年間利用量100kgだったものを10年で3倍の300kgに増加させる。

#### 【借入人のSPT】

	2023年 6月期 実績	2024年 6月期	2025年 6月期	2026年 6月期	2027年 6月期	2028年 6月期	2029年 6月期	2030年 6月期	2031年 6月期	2032年 6月期	2033年 6月期
アップサイクル PBT利用量	100kg	120kg	140kg	160kg	180kg	200kg	220kg	240kg	260kg	280kg	300kg

#### （2）SPTの野心性

現在、借入人が化粧筆を製造するために利用している人工毛は年間で1,800kgであり、そのうち約5.6%の100kgがアップサイクルPBTである。化粧筆の毛の部分には顔の素肌に直接触れるため、廃棄物を活用した素材で作られた商品は、メイク業界でのニーズが極めて小さく、他メーカーのOEM生産の受注が難しい。また、市場においてもアップサイクルPBTで作られた化粧筆はほとんど流通していないのが実情である。

そのような中、借入人は、アップサイクルPBT製の化粧筆として、パウダーブラシやファンデーションブラシ、アイシャドウブラシ2種類、アイブロウブラシの計5種類を開発してきた。

今後、アップサイクルPBTの利用量の増加をSPTとして、チークブラシやボディブラシなどあらゆる商品の開発を行って自社ブランド製品として販売していく。

借入人が一番多く製造する化粧筆の定番商品はチークブラシであるが、チークブラシに利用される毛量は1本当たり約5gであり、2023年のアップサイクルPBTの利用実績値は100kgで、チークブラシ2万本分に相当する。自社ブランド製品のチークブラシの過去販売ピークは年間6万本であるため、6万本全てをアップサイクルPBT製にしてやっと300kgの利用量となる。アップサイクルPBTが市場に浸透していない現状において、300kgの利用を達成するのは困難を伴うものである。

SPTの達成に向けては、単に既存商品の素材をアップサイクルPBTに代替するだけでは不十分で、新たな商品開発やそれに伴う研究・分析や試作などのチャレンジを行う必要がある。

以上のことからSPTの達成は容易ではなく野心性があるといえる。

#### （3）SPTの適切性

SPTの適切性については、第三者機関であるひろぎんエリアデザインからセカンドオピニオンを取得している。

## 4. ローンの特徴

評価対象の「ローン特性」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

貸出期間中に適用される金利は、以下の要件の達成状況によって決定される。

- (1) 借入人は貸付人に取組についての進捗状況を書面にて報告すること。
- (2) SPTの目標数値を達成すること。

(1) が遵守されている場合、(2) が未達でも、スプレッドは変わらない。(1) が遵守され(2) が達成される場合、スプレッドは縮小されるように設計されている。よって、貸出条件とSPTは連動しているといえる。

## 5. レポートिंग

評価対象の「レポートिंग」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

### (1) 貸付人への報告

借入人は、SPTの達成状況を書面にて貸付人に提出する予定である。これにより貸付人はSPTの達成状況に関する最新の情報を入手できる。

### (2) 一般開示

借入人は、今回の資金調達がサステナビリティ・リンク・ローンに基づくものであることを、貸付人のウェブサイトで表明することを企図している。SPTに関する情報を一般に開示することにより、透明性を確保する。

## 6. 検証

評価対象の「検証」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

借入人はサステナビリティ・リンク・ローンのフレームワークに関して、前述の「1. 借入人とサステナビリティ」、「2. KPIの選定」、「3. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (SPT) の測定」、「4. ローンの特徴」、「5. レポートिंग」に関して、自らの対応について客観性評価が必要と判断し、ひろぎんエリアデザインによるレビュー及びSPTとして設定する指標の検証を依頼した。

当該依頼を受け、ひろぎんエリアデザインは、評価対象のサステナビリティ・リンク・ローン原則への適合性について確認の上、セカンドオピニオンを作成した。貸付人も、ひろぎんエリアデザインがセカンドオピニオンを作成することを承諾している。ひろぎんエリアデザインのセカンドオピニオンは貸付人に提供される。



## ひろぎんエリアデザイン 会社概要

社名 ひろぎんエリアデザイン株式会社

代表者 代表取締役社長 松内 紀子

所在地 〒730-0031  
広島県広島市中区紙屋町1丁目3-8

設立 2021年4月1日

資本金 1億円

株主 株式会社ひろぎんホールディングス

TEL 082-504-3016

## 留意事項

### 1. ひろぎんエリアデザインの第三者意見について

本文書については、貸付人が借入人に対して実施するサステナビリティ・リンク・ローンについて、ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」への適合性、準拠性、設定する目標の合理性に対する第三者意見を述べたものです。

その内容は、入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

ひろぎんエリアデザインは、当文書のあらゆる使用から生じる直接的・間接的損失や派生的損害については、一切責任を負いません。

### 2. 貸付人との関係性、独立性

ひろぎんエリアデザインは、ひろぎんグループに属しており、貸付人及びひろぎんグループ企業との間、及びひろぎんグループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は、貸付人とは独立して行われるものであり、貸付人からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

### 3. ひろぎんエリアデザインの第三者性

借入人とひろぎんエリアデザインとの間に利益相反が生じるような、資本関係、人的関係等の特別な利害関係はございません。

### 4. 本文書の著作権

本文書に関する一切の権利は、ひろぎんエリアデザインが保有しています。本文書の全部または一部を、自己使用の目的を超えて、複製、改変、翻訳、頒布等を行うことは禁止されています。